



2018年7月17日  
住友生命保険相互会社

# スミセイ“Vitality Action”がスポーツ庁長官 感謝状を受賞!!

住友生命保険相互会社（社長 橋本 雅博、以下住友生命）が実施する「スミセイ“Vitality Action”」は、スポーツ庁長官より7月17日に感謝状を授与いただきました。本プロジェクトは、「たいせつな人とカラダを動かそう！」をコンセプトに、健康増進をテーマとした社会貢献活動として実施しています。

## ■□スミセイ“Vitality Action”について ■□

住友生命では、本業を通じて「健康寿命の延伸」という社会的課題の解決に取り組んでおります。この取り組みを「CSVプロジェクト」と位置づけ、「お客さま」・「社会」・「会社」・「職員」とともに、健康増進という新しい共有価値を創造することで、日本の健康寿命の延伸を目指しております。スミセイ“Vitality Action”は、このCSVプロジェクトの柱のひとつで、2017年度の住友生命創業110周年の節目に、健康増進に取り組む社会貢献事業としてスタートしました。

「スミセイ“Vitality Action”」は、1つの組織だけでなく、自治体や財団、研究者、アスリート等様々な皆さまのご協力を得ながら健康寿命の延伸を推進していく取り組みで、全国110箇所で開催された様々な種目のトップアスリートを講師に迎えた親子スポーツイベントの開催や、大規模ランニングイベントの開催による「行動促進」を図っています。また、講演会の開催や啓発冊子の配布等による健康増進への「理解促進」を図っています。

<http://www.sumitomolife.co.jp/sva/>

## ■□プロジェクトの概要 □■

### 1. トップアスリートによる「親子スポーツイベント」を全国110箇所で開催

「スミセイ“Vitality Action”」の「たいせつな人と一緒に運動する素晴らしさを広めたい」という趣旨に賛同いただいた、様々な種目のトップアスリートを講師にお迎えし、全国110箇所で開催しています。



### 2. 「ランニングイベント」の開催

「たいせつな人と一緒に楽しく走る」ランニングイベントを開催しています。



スミセイバイタリティアクション Presents プレミアム“カラダ”フライデー-RUN  
(2017年11月24日 場所：東京都 皇居外苑・日比谷公園)

スミセイバイタリティアクション Presents 北九州スマイル FUNRUN!  
(2018年3月21日 場所：福岡県北九州市 西日本総合展示場)

### 3. 全国での「健康啓発セミナー」の開催

一般財団法人住友生命福祉文化財団や、公益財団法人住友生命健康財団と連携し“健康”をテーマとしたセミナーやイベントを全国にて実施しています。



スマセイ ウエルネスセミナー



スマセイライフフォーラム「生きる」

#### ■□ スマセイ“Vitality Action”これまでの実績 □■

1. 「親子スポーツイベント」開催数：29 箇所（2018 年 6 月末現在）

参加者人数：3,142 人

2. 「ランニングイベント」開催数：2 箇所（2018 年 3 月末現在）

参加者人数：約 2,300 人

3. 「健康啓発セミナー」開催数：46 箇所（2018 年 3 月末現在）

参加者人数：19,788 人

#### ■□ プロジェクト発足の背景 □■

住友生命が独自に小学生の子どもを持つ2,000人(30~40代の男性1,000人、女性1,000人)を対象にインターネット調査（2017年6月実施）によると、運動をすると健康に良いと思っていながら、実際には、運動する時間がないなどの理由で運動に取り組めていない方が73.7%と、多数いる実態が浮かび上がりました。東京大学政策ビジョン研究センターデータヘルス研究ユニット特任教授 医学博士である古井祐司教授によると、30代40代は仕事や子育て、介護などで忙しく自分自身の健康が二の次になってしまう「働き盛りのわな」に陥っているとの事です。運動習慣をつけるには、①運動するきっかけをつくること ②日常生活の動線上に運動習慣を設けること ③気軽に取り組めること ④一緒に行う仲間がいること この4つが大切であると提言されています。

また、筑波大学体育系教授 保健学博士である武田文教授によると、誰かと一緒に運動することで人の交流やコミュニケーションが生まれ、メンタルヘルスに好影響を与え、テニス等の対戦型スポーツでは相手のプレーに瞬間的に反応することで、一人でする運動と異なり身体機能の保持に繋がると提言されています。